



Title	2012年度 意匠学会作品賞選考結果報告
Author(s)	塚田, 章
Citation	デザイン理論. 2014, 63, p. 1-2
Version Type	VoR
URL	https://doi.org/10.18910/56288
rights	
Note	

The University of Osaka Institutional Knowledge Archive : OUKA

<https://ir.library.osaka-u.ac.jp/>

The University of Osaka

2012年度 意匠学会作品賞選考結果報告

学会賞選考委員会副委員長

作品賞担当 塚田 章

第54回意匠学会大会に於いてパネル発表された作品の審査を2012年7月22日に実施し、選考結果が下記の様になりましたので報告致します。

■ 場所 京都工芸繊維大学 60周年記念館内会議室

■ 参加メンバー伊原久裕先生、櫛勝彦先生、塚田章（座長）

※作品賞の審査メンバーである山形正昭先生は当日本務校の仕事の関係で欠席で、上記の3名で審査を行いました。

■ 平成23年度審査対象の作品

・大森正夫会員 “都市型アートフェスティバルの実践プログラム——「神戸ビエンナーレ2013」のプロジェクトとマネージメント——”

・小山格平会員 “SOUND RING——インテリア空間に心地よい音の広がりを求めて——”

・滝口洋子会員 “Lolita”

・塚田 “京団扇のデザイン”

以上4作品

尚、塚田の作品は参考展示で作品賞の対象ではありませんでした。

2012年度のパネル発表は、応募作品数が4点と非常に少ない事がネックとなっていました。しかし、選考委員会での審議では発表作品の質はそれぞれの作品で十分担保されているので、通常の審査で判断する事としました。

審査の結果、大森正夫会員の“都市型アートフェスティバルの実践プログラム——「神戸ビエンナーレ2013」のプロジェクトとマネージメント”が平成23年度の意匠学会作品賞に選定されました。

神戸市では阪神・淡路大震災から10年を経過した平成16年に『神戸文化創生都市宣言』が為され、都市文化創世プログラムの一環として「神戸ビエンナーレ」が開催されることとなりました。大森正夫会員はその実施に向けてアートディレクターとして当初から活動されています。審査の経緯で“都市型アートフェスティバルの実践プログラム——「神戸ビエンナーレ

2013」のプロジェクトとマネージメント——”のパネル発表状況では「神戸ビエンナーレ2013」実施の全体像が網羅されていてこれらの内容に於いてどの部分に大森正夫会員が関わったのかが見え難いという指摘がありました。氏に直接確認すると、アートディレクターとして全てコントロールしていて展示している文章は殆ど全て氏が執筆していると話され、デザインは専門のデザイナーに依頼したものも在るが指示・確認等は全て氏が行っているとの事でした。「神戸ビエンナーレ」は継続的に実践されているものであり対社会的な広がりもあり、内容的に充実していて作品賞として相応しいとの判断が全員一致で為されました。この内容は学会賞選考委員会として意匠学会役員会に報告され承認されました。

